

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-24178

(43) 公開日 平成10年(1998) 1月27日

(51) Int.Cl.⁶
B 2 6 B 13/22

識別記号 庁内整理番号

F I
B 2 6 B 13/22

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平8-183205

(22) 出願日 平成8年(1996) 7月12日

(71) 出願人 000213297

中部電力株式会社

愛知県名古屋市東区東新町1番地

(71) 出願人 000142791

株式会社アトックス

東京都中央区新富二丁目3番4号

(72) 発明者 渡辺 泰臣

愛知県名古屋市緑区大高町字北岡山20-1

中部電力株式会社電力技術研究所内

(72) 発明者 小松 一

千葉県柏市高田1408 株式会社アトックス

技術開発センター内

(74) 代理人 弁理士 大橋 勇 (外1名)

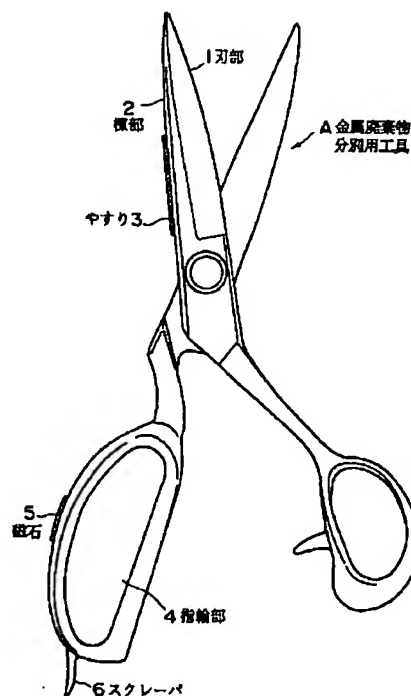
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 金属廃棄物分別用工具

(57) 【要約】

【課題】 梱包材であるポリシート等を開封し易く、かつ開封したのち、中身の分別作業の際、工具の持ち替えの必要が無く、一本の工具で効率的にしかも正確に作業することができる金属廃棄物分別用工具を提供する。

【解決手段】 鋏の刃部1の棟部2にやすり3を、鋏の指輪部4の外周部に磁石5を、そして指輪部4の下部にスクレーパ6を取付けて一個の工具で分別作業ができる。



1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 鉄の刃部(1)の棟部(2)にやすり(3)を、鉄の指輪部(4)の外周部に磁石(5)を、そして指輪部(4)の下部にスクレーパ(6)を備えた金属廃棄物分別用工具。

【請求項2】 磁石(5)を指輪部(4)の外周部へ埋め込みによって取付けた請求項1記載の金属廃棄物分別用工具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はポリシート等の金属廃棄物の養生用梱包材を切断する機能と、梱包材内の金属廃棄物から磁性のある鉄材と磁性のないアルミ材、鉛材等を判別する機能を兼ね備えた工具に関するものである。

【0002】

【従来の技術】ポリシート等で養生された雑多な金属廃棄物(例えば放射性物質で汚染された金属廃棄物)を開封するには、従来はさみやカッター等を用いて人手により作業をしていた。また、磁性材料と非磁性材料の混在中身の金属廃棄物を分別するには、重さや表面光沢等により判定していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】梱包材であるポリシート等を開封し易く、かつ開封したのち、中身の分別作業の際、工具の持ち替えの必要が無く、一本の工具で効率的にしかも正確に作業することができる金属廃棄物分別用工具を提供する。

【0004】

【課題を解決するための手段】鉄の刃部1の棟部2にやすり3を、鉄の指輪部4の外周部に磁石5を、指輪部4の下部にスクレーパ6を備えた。そして磁石5の取付けを指輪部4の外周部への埋め込みによって取付けた。

【0005】

【発明の実施の形態】図1にもとづいて説明する。図1で金属廃棄物分別用工具Aは公知の鉄を改良したものである。1は鉄の刃部である。2は刃部1の反対側にある棟部である。3はこの棟部に接着等で取付けたやすりである。

【0006】4は指を挿入する指輪部で、この外周部に磁石5が接着又は埋め込みで取り付けられている。6は

指輪部4の下端外周部に取付けたスクレーパである。

【0007】前記やすり3はこれで金属表面を削り、金属の凡その硬度を判断する。磁石5はこれにより金属の磁性の有無を判別する。そしてスクレーパ6は金属廃棄物に付着した粘着テープ等の付着物を剥離するのに使用する。

【0008】(工具の使用法)

(1)鉄により金属廃棄物を梱包しているポリシート等を切断する。

10 (2)棟部2に取付けたやすり3によって金属廃棄物の表面を削ることにより、表面の光り具合で鉄が非鉄かの目安をつける。また、このやすり3で表面の表面汚れを除去することにより、目視判定の補助をする。

(3)指輪部外部に取付けた磁石5によって、廃棄物の磁性の有無を判断し、鉄か非鉄かを判定する。

(4)指輪部の下部に取付けたスクレーパ6により、金属表面に付着した粘着テープ等の汚れを剥離する。

(5)以上の操作を一個の工具を持っただけで行うことができる。

20 【0009】

【発明の効果】鉄にやすり、磁石そしてスクレーパを一体に取付けたので、鉄でポリシート等の養生物を切断すると、その手で直ちに金属廃棄物の判別ができ分別作業がし易くなった。そしてまず、やすり3で削ることによって鉄か非鉄かの判別が相当程度の正確さで判断ができる。次に磁石5を近づけることにより、磁着するか否かで鉄か非鉄かが容易に決定される。さらに、スクレーパ6によって金属廃棄物の表面に付着した粘着物等を容易に除去できるので、上記やすり3と磁石5による判別をより正確に行うことができる。以上の如く、一個の工具に複数の機能を持たせたので、従来別々の工具を持ち換えて行っていた判別作業を一つの工具を持つだけで迅速に遂行することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る金属廃棄物分別用工具である。

【符号の説明】

A 金属廃棄物分別用工具

1 刃部

2 棟部

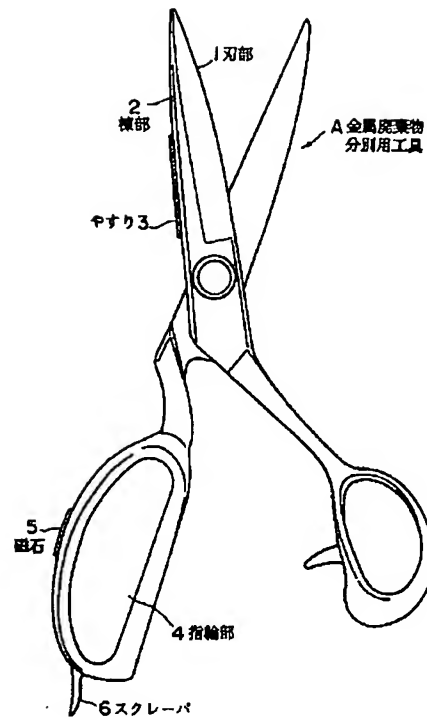
3 やすり

4 指輪部

5 磁石

6 スクレーパ

【図1】



フロントページの続き

(72)発明者 厚綿 政弘
千葉県柏市高田1408 株式会社アトックス
技術開発センター内

PAT-NO: JP410024178A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 10024178 A
TITLE: UTENSIL FOR SORTING METAL WASTE
PUBN-DATE: January 27, 1998

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
WATANABE, TAISHIN	
KOMATSU, HAJIME	
ATSUWATA, MASAHIRO	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
CHUBU ELECTRIC POWER CO INC	N/A
KK ATOTSUKUSU	N/A

APPL-NO: JP08183205
APPL-DATE: July 12, 1996

INT-CL (IPC): B26B013/22

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To facilitate the unsealing of a polyethylene sheet, etc., and perform a sorting work without changing a utensil by a method wherein at the ridge part of a blade of a scissors, a file is provided, and on the outer periphery of a finger ring part, a magnet is provided, and a scraper is provided under the finger ring part.

SOLUTION: A file 3 is attached to the ridge part 2 of a blade part 1 of a scissors. On the outer periphery of a finger ring part 4, a magnet 5 is attached by bonding or embedding. In addition, under the outer periphery of the finger ring part 4, a scraper 6 is provided. By this scissors, a polyethylene sheet, etc., wrapping metal wastes, are cut and unsealed. The surface of the metal wastes is shaved by the file 3, and whether it is non-iron or iron is judged. Also, the presence/absence of magnetism of the wastes is judged by the magnet 5. Contamination of an adhesive tape, etc., being adhered on the surface of the metal, is peeled by the scraper 6. By this utensil, the sorting work can be efficiently performed by one utensil without changing the utensil with another one.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO